



暮かしの日々の歳めて27年。それまでは施設のセイコーマンをやつてだ。毎日、決まりた医療に行くのが嫌でね。好きなところに寄せて安らかに休むにせりつたのうじか?何か自分で面倒見したのうじか?と思つて。たぶたぶ看板屋が從業員募集したんだ。それに勧めた。居に何屋でも良かったんだもん。たまたま看板屋が募集してて応募しただけ。看板屋やつたり猪

立した後も独りでやれるかなと限りない。でも一年間だけ修行して、そのあと独立した。だから別に誰かの手や絵か上手いからではないんだ。とにかく看板に関する何をしてもたわむけじやねえ。看板の仕事ややる気がないものにはいつづいた感じですね、金運の七八回目。

支へて自分がせて考えて作る

うもの作るでしょ？前に大きい鉛筆作つたんやけど初めは単色でよかっただけど、後で木目を入れてくれってなった。でも、もう少しだららしかわからん」と、教えてもらつれば、アフターハードで塗装したり、すべてがそり、自分で考えて作る。

たまにバイトの子が個人で仕事を取つたりする「じゅゆあるけど」と、そんなときはやつけて使つてもらわかのうと言つてあるが、材料とかもあるから。

やれる範囲でやりたかったらやりたいのやめないと参加無料でした。

今、うち清形教室やつてるの知つてる? なんで始めたか聞いて
と、同業者からよく電話かかってくるねん。平看板とかやつて
る人がいたのちうご懼れがあるみたいじ。自分でやつてあるけ

同じことをやる前からやあるが、なぜかモードが既に決まっている。なぜかなるかなうに認めていた。僕が想はした以上で間違えた。世とさせ1年くらい修行するのが普通らしい。僕がやったのはなんとかなる。金曜のトーストの仕事が主で、仕事が終わる頃にはいつも席の隣の人に寝て居る。場所も大きさもトーストの隣の方。わざ成り行きで、周の人のおかげでやっていた。僕は何やつもしてく。喫茶やものがよくそこ。もし、トーストの隣で断面があるトーストとかや取材来てくれる。まあ、トーストや断面の、人が集まつておしゃべりしている。

